

令和6(2024)年度 事業計画

まずは、能登半島地震で被災された皆様へお見舞い申し上げるとともに、震災からの復旧・復興について、今後も切れ目なく支援を継続することが、阪神淡路大震災で日本中の皆様からのご支援を頂戴した経験のある我々の責務と考えております。

さて、経営環境を概観すると、日経平均株価がバブル絶頂期以来34年ぶりに過去最高値を更新し、訪日外国人数はコロナ前を超える水準にまで回復するなど、好景気の実感がない中、明るさは取り戻しつつあります。

一方で、少子高齢化の加速であらゆる業種に人手不足感がひろがり、特に中小企業においては、物価高騰対策も相まって、およそ7割の企業でいわゆる「防衛的な賃上げ」を余儀なくされ、成長への投資と分配のバランスが課題となっています。

地域に目を移せば、いよいよ2025年4月に大阪・関西万博の開催を迎えます。宝塚は万博会場から最も近い温泉地で、歌劇や神社仏閣、手塚治虫記念館など様々なまちの魅力を、この機会を捉えて積極的に発信し、まちの活力と発展に繋げなければなりません。

宝塚商工会議所では、昨年度を「変革への第一歩」と位置付け、会員の皆様との対話や意見交換を通して、課題抽出や目標設定を行いました。令和6年度・第10期重点活動テーマとして、「1.会員増強」、「2.情報発信の強化」、「3.街のにぎわいづくり」を掲げ、事業計画を策定しました。スモール・スタートで成功体験を積み重ね、成果を実感できる事業活動を展開して行きたいと考えております。

会員の皆様をはじめ関係各機関におかれましては、当所事業活動にご理解とご協力を宜しくお願いいたします。